



学校だより

わかまつ

鈴鹿市立若松小学校

N o 30

令和5年2月17日

4年「いじめ予防授業」を実施

2月3日（金）の5、6限に音楽室で4年生が「いじめ予防授業」を受けました。初めに講師の庄山弁護士から「人権」とは何かについてわかりやすく説明してもらい、いじめが起きると「安心して学校にいけない、自分に自信が持てなくなる、自由な生活ができなくなる」等、「人権が傷つけられる」ことを学びました。また、「いじめられる側も悪いの？」という考え方については、「いじめられる側にも問題があるというのは、い



じめの言い訳に過ぎない」ことをおさえてもらいました。それでは、「なぜ、いじめがいけないのか」については、当時中学2年生の男の子がいじめによって自分の命を絶つてしまいう事件があったことを事例としてあげ、いじめられている側の心は、人によって許容量が異なり、何気ない言葉や行動で人が自殺してしまうこともあることを知りました。

後半は、いじめの仕組みを可視化して理解するために「いじめ人（加害者）、いじめられる人（被害者）、面白い人（観衆）、見ているだけの人（傍観者）」の4者の役割を児童が実際にロールプレイで演じました。いじめをなくすためには、どの立場の人でも自覚しなければならないが、特に「見ているだけの人（傍観者）」がいじめをなくすカギになることを知りました。子どもたちは、終始、講師さんのお話に耳を傾け、問いかけに自分の意見を発言したり、ロールプレイを真剣に見たりして授業に積極的に参加していました。授業後の感想には、いじめで人が亡くなることを知ってショックを受けたことや自分はロールプレイのどの立場かを考え、今後はどうしていきたいかについて書いています。

予防授業後に、各クラスで学習したことをもう一度振り返り、いじめを自分のこととしてとらえ、いじめを絶対にしないように担任から指導をしました。今後、いじめ防止に向けて、「いじめは絶対許されない行為である」ことを理解し、相手の考えや思いを受け取る理解力と相手の身になって思いやる共感力を育む取組や、人権意識が高く、正義感のある「集団づくり」を目指して、道徳教育、人権教育の充実をいっそう図っていきます。

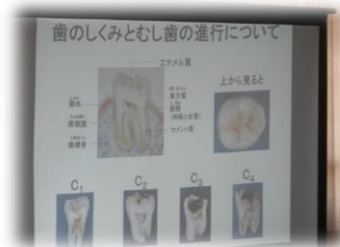


6年「歯の指導」を受けました！



2月16日（木）1限に、6年生が学校歯科医師の榮先生から歯についての授業と歯科衛生士さんから歯の正しいみがき方の指導を受けました。毎年、卒業前に「卒業生へのお祝い授業」として歯のことを教えてもらっています。歯のしくみや虫歯予防、歯周病にならないための生活習慣などについてパワーポイントでくわしく説明いただき理解を深めました。虫歯予防には、食後の歯みがきが大切ですが、それ以外にも「ゆっくりかんで食べる」、「規則正しい食事のリズムを作る」などを心がける必要があります。また、よくかんで食べることの大切さについて「ひみこの歯がい〜ぜ」という合言葉を教えてもらい、「ひ肥満予防」、「み味覚をよくする」、「こ言葉の発音がはっきり」など、よくかむと歯だけでなく、脳や胃腸の働き、全身の体力アップにもつながるとのことです。

歯科衛生士さんからは、歯と歯ブラシの模型をつかって、みがきにくい場所やみがき残しのある場所がどこであるか、どうやってみがくかを示してもらい、歯周病予防のための正しいみがき方を指導していただきました。最後に榮先生から恒例の手工品を披露していただき、子どもたちは大喜びでした。これからも歯を大切にして自分の歯と一生つき合っていてほしいです。



学校保健委員会を開催しました

昨年度は、新型コロナウイルス感染防止のために実際に集まることはしませんでした。今年度は2月16日（木）に「がん教育」の講師である塩野さんをお招きして学校保健委員会を学校医、学校歯科医、薬剤師、PTA会長、校長、教頭、養護教諭の8名で開催しました。前半は、養護教諭から若松小学校の健康診断や歯科検診、視力検査の結果の報告があり、学校医さんからご意見をいただきました。

後半は、塩野講師から津市や桑名市の小中学校で実際に「がん教育」の授業をされた時の児童生徒の様子や授業後の感想を紹介いただき、授業にあたって配慮が必要なものやご自身の体験などを教えていただきました。がんは、現在の二人に一人がかかるとされていて、健康についての基礎教養として身につけておくべきものとなりつつあります。子どもが、自分の健康を管理し、がんの正しい知識とがん患者に対する正しい認識をもてるように、今日のお話を良いきっかけとして進めていきたいと考えます。

